

## ユネスコ国際会議出張報告

平成22年2月8日

金谷茂則

出張先：Sofitel Philippine Plaza Manila, Manila, the Philippines

期間：平成22年2月5日～7日

2月6日(土)に Sofitel Philippine Plaza Manila (Rm: Romblon and Mindoro) で開催されたバイオテクノロジー分野の人材育成に関するユネスコ国際会議「UNESCO Manila Conference on Capacity-Building in Life Science」に出席し、フィリピンの主要大学(バイオテクノロジー分野)における人材育成方針を調査するとともに、これらの大学から出席していた学部長、副学部長と大学院生のインターンシップについて情報交換を行った。本会議のプログラムは別紙のとおり。生命先端工学専攻は、文科省の大学院教育改革支援プログラム(大学院GP)(平成21年度より組織的な大学院教育改革推進プログラム)を平成20年度から3年間の予定で実施している。課題名は国際連携大学院FDネットワークプログラム(International Collaboration Program of Graduate School for Faculty Development)である。本教育プログラムでは、大学院教員の海外ファカルティ・ディベロップメント(FD)研修、学生の海外インターンシップ、授業のHP公開、英語による大学院博士前期課程の講義、演習、研究指導などを実施することにより、大学院教員の英語による教授方法・教育方法を高め、大学院教育の国際化を推進することを目的としている。今回の調査で、フィリピンの各大学(University of the Philippines Los Baños、University of the Philippines Diliman、University of the Philippines Manila、University of Santo Tomas、De La Salle University Manila)は大学院学生の阪大との交流を強く希望していることがわかったので、今後具体的な実施方法について検討することとした。

